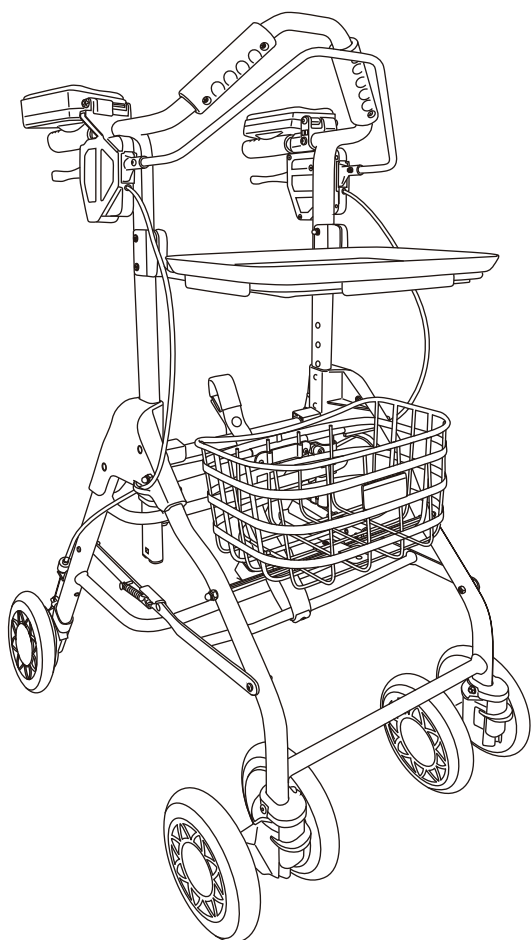


取扱説明書

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。
製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへご連絡ください。



目次

ご使用前の注意	1 P
ご使用上の注意	2 ~ 3 P
お手入れ方法	3 P
保管方法	3 P
各部の名称と製品仕様	4 P
車体の組み立て方・折りたたみ方	5 P
アームレストの切りかえ方法	5 P
グリップの使用方法	6 P
ブレーキの使用方法	7 P
トレイ載せフレームの取り付け・取りはずし方法	7 P
トレイの使用方法	8 P
袋の取り付け方法	8 P
ブレーキの調節方法	9 P
ワン・ツー・スリーキャスターの使用方法	10 P
故障かな？と思ったら	10 P

福祉用具総合メーカー

株式会社 幸和製作所

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1

【カスタマーサポート】10時~17時(土・日・祝日を除く)

0120-508-058

フリーコール フリーコール コーワ オーコーワ

<http://www.tacaof.co.jp>

転倒や事故防止のため、下記の事項をかならず守ってください。

ご使用前の注意

⚠ 警告 下記の場所では絶対に使用しないでください。

- 屋外。
- 床が濡れている所。

⚠ 注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- この製品は屋内専用歩行車です。屋外では使用しないでください。
- 組み立てるときは周囲に人がいないことを確認してください。
- 組み立て、折りたたみおよび調節は確実に行ってください。また指などはさまないように注意してください。
- グリップ高さ調節ツマミの固定を解除した状態で、ハンドルから手をはなさないでください。
- 高さ設定後、がたつき抑えレバーを確実に固定してください。
- かならず使用する高さに設定した状態で各部を点検し、ハンドブレーキと駐車ブレーキの使用時に左右の後輪が確実に固定されることを確認してください。
- ブレーキを解除したときには、後輪がスムーズに回転することを確認してください。ブレーキシューが後輪内側に干渉する場合はブレーキの調節をしてください。(9P「ブレーキの調節方法」参照)
- ブレーキワイヤーが足に接触しない位置まで曲げてください。ブレーキワイヤーが足に接触する場合は曲げ直してご使用ください。
- 車輪に紐などが巻きついていないか確認してください。巻きついていた場合は手をはさまないように気を付けてゆっくりと取り除いてください。
- ネジなどのゆるみがないこと、グリップが固定されていることを確認してください。
- ご使用の際は、かならずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- この製品を使用することが適切かどうかを定期的に専門家・医師等に確認してください。
- タイヤにほこりなどのごみが付着している場合は、確実に拭き取ってから使用してください。床への色移りの原因になります。
- タイヤおよびブレーキに磨耗が無いことを確認し、必要に応じて交換などをしてください。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへ連絡してください。
- 暗い所で使用する場合は十分に注意してください。
- トレイを使用する場合は確実に装着されていることを確認してください。

ご使用上の注意



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき

- グリップやフロントグリップ以外の場所を持って歩行しないでください。
- グリップやフロントグリップを片手で操作しないでください。
- グリップやフロントグリップに寄りかかったり、荷物を吊りさげたりしないでください。車体だけが動いたり、転倒することがあり危険です。
- ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。
- フロントブレーキを使用するときは、左右のブレーキがかかっていることを確認してください。
- 凸凹や傾斜のある場所では十分に注意してください。また、急な勾配の傾斜では使用しないでください。
- 段差や溝などにつまずくと、転倒するおそれがありますので注意してください。また、段差に対して斜めに進入しないでください。段差の手前ではかならず一旦止まり、十分注意して慎重に越えてください。

トレイに関して

- トレイには熱いものを載せないでください。
- トレイを使用されるときは、トレイの上に載せたものが倒れないように注意して歩行してください。
- トレイに背が高いものを載せないでください。フロントブレーキにあたり、ブレーキがかからなかったり、ものが倒れることがあります。
- トレイの上に体重をかけたり、乗ったり、座ったりしないでください。トレイが破損し、ケガをするおそれがあります。
- トレイは確実に、フレームに固定されていることを確認してください。歩行中にトレイがはずれたり、トレイの上に載せた物が倒れることがあります。
- このトレイは食品を直接置くものではありません。食品はかならず、お皿やお椀等を使用し、トレイに載せてください。
- 電子レンジで加熱使用しないでください。
- トレイの汚れは長時間、放置しないでください。汚れ跡が残る原因となります。

- 分解・修理は弊社サービス員以外行わないでください。



注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき

- ハンドブレーキやフロントブレーキを握った状態、および駐車ブレーキをかけた状態で車体を動かしたり、歩行しないでください。
- 車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
- ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。

ご使用上の注意

⚠ 注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩 行 の と き	<ul style="list-style-type: none">● 傾斜のある場所では駐車しないでください。傾斜のある場所では、たとえブレーキをかけても動く場合があります大変危険です。やむを得ない場合は動かないように十分に注意してください。● 溝・段差、勾配のある場所を通る場合は十分に注意してください。● 敷居を越える場合は十分に注意してください。● 床が濡れている所、またタイヤが濡れている状態で歩行するとブレーキがかかりにくくなるので注意してください。● 車輪を持って本体を持ちあげないでください。車輪とフレームで手をはさみケガをするおそれがあります。● アームレストを持って本体を持ちあげないでください。故障や変形の原因となります。
カ ゴ に 関 し て	<ul style="list-style-type: none">● カゴに体重をかけないでください。カゴが破損し、ケガをするおそれがあります。● カゴの積載荷重以上の重さの荷物を入れしないでください。
ト レ イ に 関 し て	<ul style="list-style-type: none">● トレイの積載荷重以上の重さの荷物を載せないでください。● トレイに物を載せた状態で、トレイの着脱をしないでください。● カゴに荷物が入っている状態で、トレイを装着しないでください。● テーブルとしては使用しないでください。

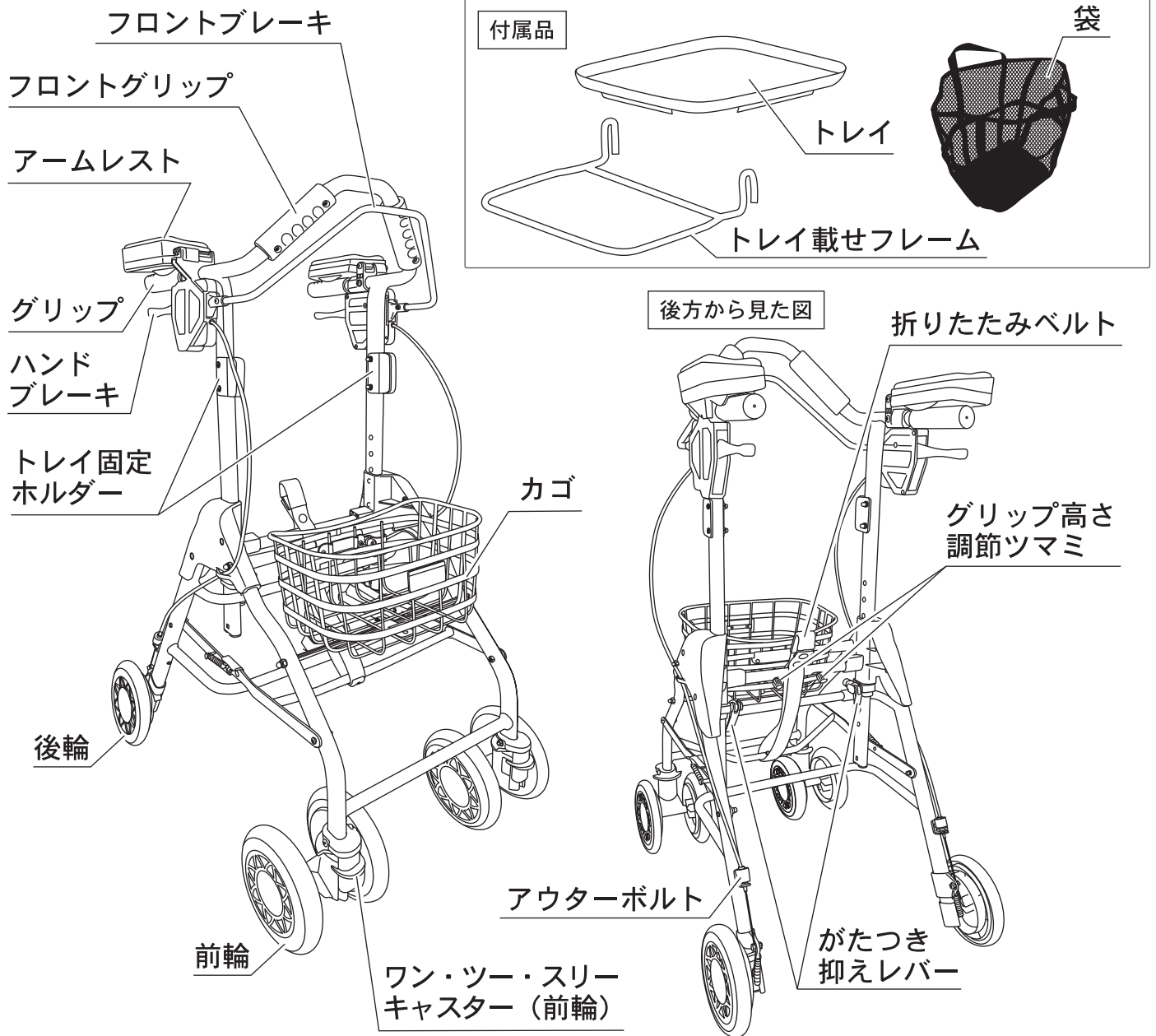
お手入れ方法

- 清掃の際には、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- 袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- トレイの汚れは中性洗剤で洗い流してください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。
- 食器洗浄機や食器乾燥機の使用は避けてください。

保管方法

- 屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- 直射日光が当たる場所、高温多湿な場所では保管しないでください。故障や変形の原因となります。

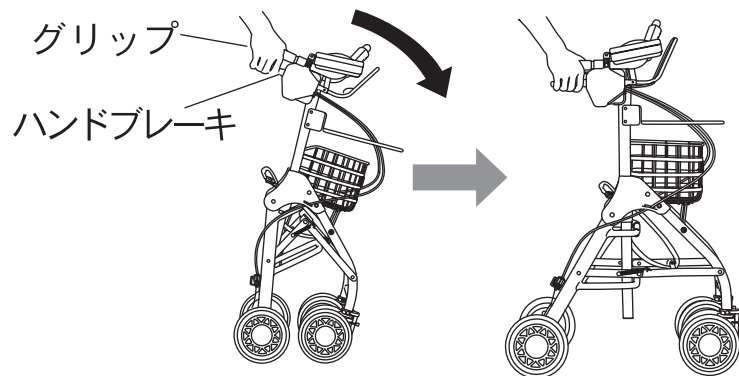
各部の名称と製品仕様



組み立て寸法	幅475×奥行650	最大使用者体重	75 kg
	×高さ840～1110 mm	カゴの積載荷重	3 kg
折りたたみ寸法	幅475×奥行450×高さ850 mm	トレイの積載荷重	2 kg
グリップ高さ	735～1005 mm 10ポジション	本体材質	アルミニウム合金
アームレスト高さ	770～1040 mm 10ポジション	カゴ材質	スチール
カゴ寸法	幅300×奥行200×高さ155 mm	車輪材質(前)	ポリプロピレン・EVA樹脂
トレイ寸法	幅350×奥行240×高さ27 mm	車輪材質(後)	ポリプロピレン・ウレタン
袋寸法	幅255×奥行190×高さ270 mm	袋材質	ナイロン・ポリエステル・ポリプロピレン
重量	7.8 kg (トレイ・トレイ載せフレーム 除く)	※各寸法、重量は参考数値です。	
	8.6 kg (トレイ・トレイ載せフレーム 含む)		

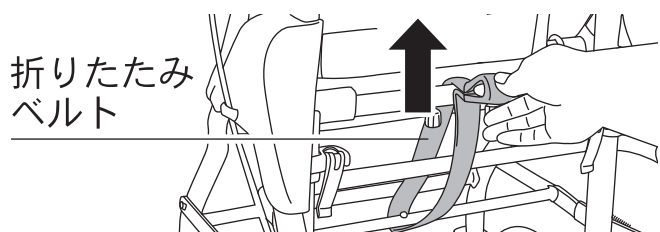
車体の組み立て方・折りたたみ方

【組み立て方】



グリップとハンドブレーキを一緒に握り、そのまま車体を前方へ押し出すように動かしてください。(※その際、体重をかけて車体に寄りかからないようにしてください。転倒のおそれがあり危険です。)

【折りたたみ方】



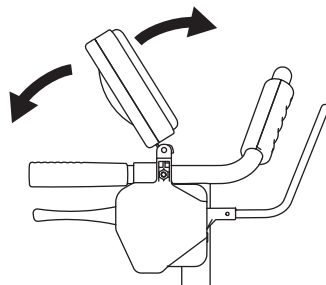
折りたたみベルトをまっすぐ上へ引きあげてください。

⚠ 注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- アームレストを確実に前方へ倒してから行ってください。
- アームレストを使用しながら組み立てないでください。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用してください。
- トレイを装着したままで、組み立て、折りたたみを行わないでください。

アームレストの切りかえ方法

アームレストを前方または後方に倒して切りかえてください。

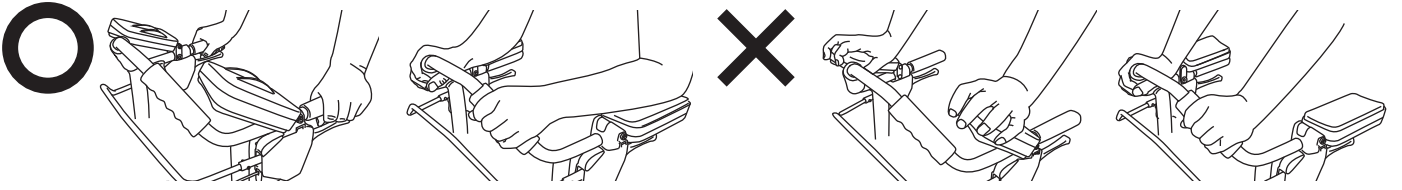


⚠ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。
- アームレストを前方に倒した状態で、アームレストに体重をかけないでください。
- 片側のアームレストのみの使用はしないでください。

グリップの使用法

左右のグリップを握って、ゆっくり歩行してください。



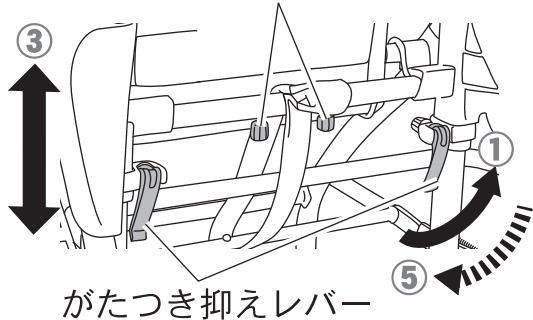
注意

- グリップやフロントグリップ以外の部分を持って使用しないでください。
- 片手での操作はしないでください。バランスを崩し危険です。
- グリップを使用するときは、アームレストが固定されるまで前へ倒してください。中途半端な状態だと手元に倒れてくるおそれがあります。

【高さの調節方法】

※車体を後方から見た図

グリップ高さ調節つまみ

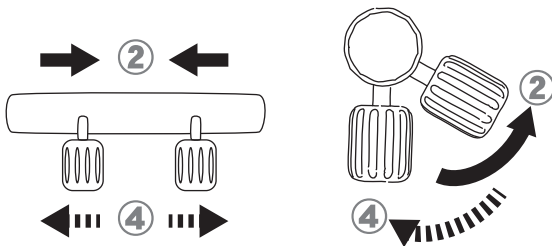


がたつき抑えレバー

※グリップ高さ調節つまみ

〈正面から見た図〉

〈側面から見た図〉



1 がたつき抑えの解除

左右のがたつき抑えレバーを手前に引いてください。

2 グリップ高さの固定の解除

グリップ高さ調節つまみを内側に寄せ、手前に引いてください。

3 グリップ高さの調節

グリップを上下させ、お好みの高さに調節してください。

4 グリップ高さの固定

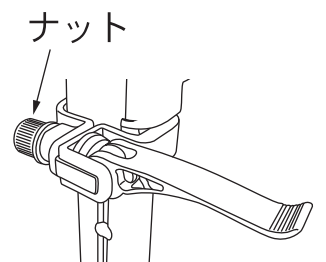
グリップ高さ調節つまみを奥にします。つまみが外に開いてグリップが固定されたことを確認してください。

5 がたつき抑えの固定

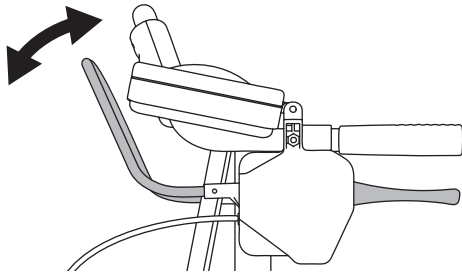
左右のがたつき抑えレバーの先端を押しさげてください。

注意

- グリップ高さ調節つまみの固定を解除した状態で、ハンドルから手をはなさないでください。
- グリップ高さ調節つまみが外側に開き、グリップが確実に固定されていることを確認してください。
- 高さの設定後、がたつき抑えレバーが確実に固定されていることを確認してください。
- がたつき抑えレバーに無理な力を加えると、部品の破損や変形の原因となります。がたつき抑えレバーが固い場合は、レバー裏側のナットを回して調節してください。
- 高さの設定後、都度ブレーキの調節を行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。



ブレーキの使用法



■ハンドブレーキの使用法

グリップを持ちながら、左右のハンドブレーキを同時に握ってください。

■フロントブレーキの使用法

フロントグリップを持ちながら、両手でフロントブレーキを握ってください。

■駐車ブレーキの使用法

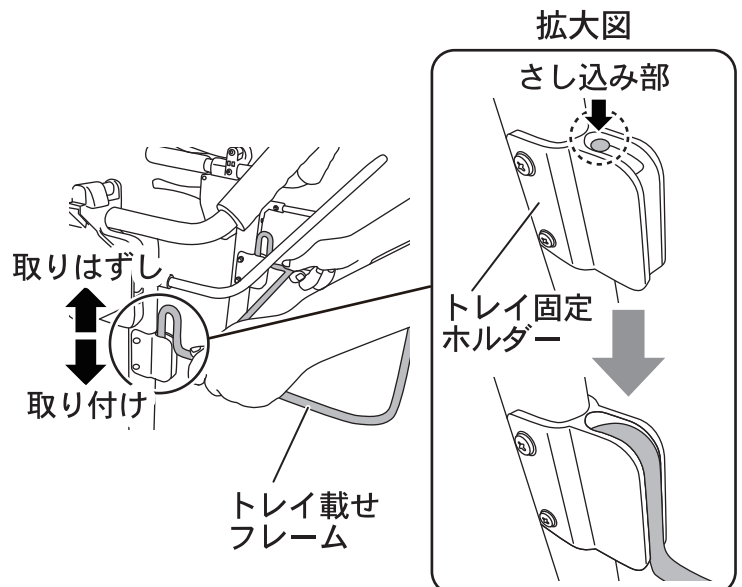
ハンドブレーキまたはフロントブレーキを押し上げると、後輪が固定され駐車ブレーキがかかります。下げたハンドブレーキまたはフロントブレーキを握ると解除されます。

⚠️ 注意

- 車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- フロントブレーキ、ハンドブレーキに体重をかけすぎないように注意してください。故障や変形することがあります。
- ハンドブレーキを操作して駐車ブレーキをかけるときは、左右のハンドブレーキを押して、左右の後輪が確実に固定されるまで、フロントブレーキを押し上げてください。
- フロントブレーキを操作して駐車ブレーキをかけるときは、フロントブレーキの中央を押して、左右の後輪が確実に固定されるまで、フロントブレーキを押し上げてください。

トレイ載せフレームの取り付け・取りはずし方法

- 1 駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 2 トレイ載せフレームをトレイ固定ホルダーにさし込んでください。
- 3 枠内の下図のように奥までさし込んでください。
- 4 取りはずしの際は、トレイ載せフレームを真上にあげてください。



⚠️ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。
- トレイ載せフレームの取り付け、取りはずしの際は、トレイを載せないでください。
- トレイ載せフレームの取り付け、取りはずしの際は、トレイ載せフレームの先端部に負荷をかけすぎないように注意してください。

トレイの使用法

トレイ固定ホルダー

トレイ載せフレーム

トレイ

トレイ裏面

ガイド

トレイを装着した時の下から見た図

ガイド

- 1 駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 2 トレイ載せフレームがトレイ固定ホルダーの奥までさし込まれていることを確認してください。
- 3 トレイの裏面のガイドがフレームの外側にくるように、フレームの上にトレイをおろし装着します。



警告

- このトレイは食品を直接置くものではありません。食品はかならず、お皿やお椀等を使用し、トレイに載せてください。



注意

- トレイに物を載せた状態で、トレイの着脱をしないでください。
- カゴに荷物が入っている状態で、トレイを装着しないでください。

袋の取り付け方法

持ち手

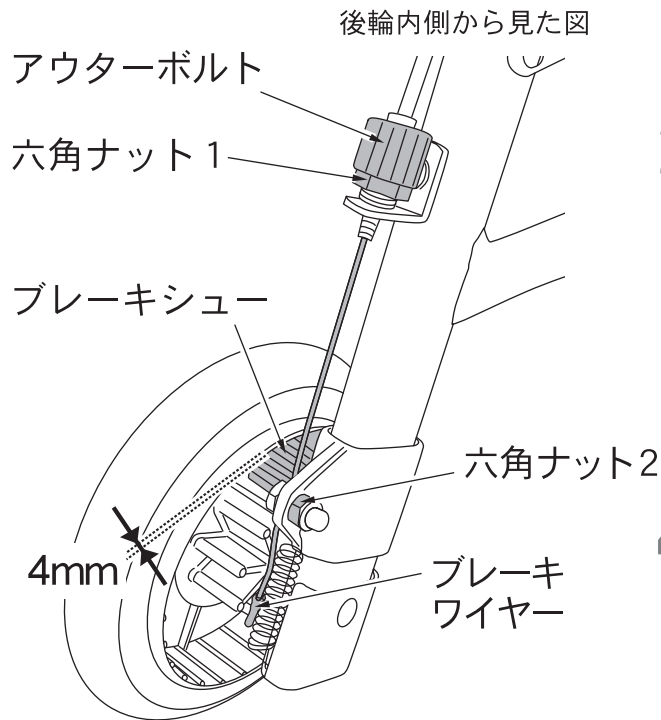
持ち手がカゴのロゴプレート側になるように袋を装着してください。

ロゴプレート

持ち手

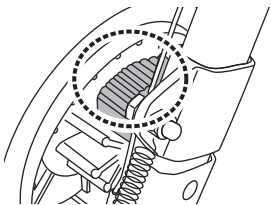
ブレーキの調節方法

ハンドブレーキの効き方に不都合があるときは、以下の手順で調節してください。アウターボルトは左右にあります。必要に応じてそれぞれを調節してください。

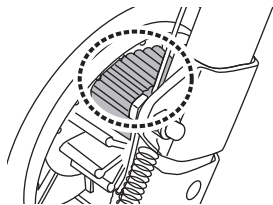


- 1 駐車ブレーキを解除してください。
- 2 六角ナット 1 を反時計回りの方向へ回してゆるめてください。
- 3 アウターボルトを回して、車輪内側とブレーキシューのすき間を 4mm に調節してください。
時計回り → すき間が広がる
反時計回り → すき間が狭まる
- 4 アウターボルトを押さえながら、六角ナット 1 を時計回りの方向へ回して締めてください。(六角ナット 1 を締める際アウターボルトが回ると、3 で行った調節がずれてしまいます。)

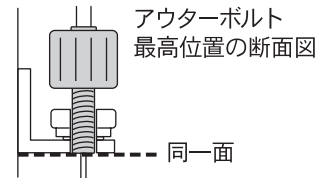
× ブレーキシューが車輪内側の中心部に当たる



× ブレーキシューが車輪内側の上部に当たる



※アウターボルトが最高位置に達する場合、下記のようにブレーキワイヤーを引っぱり調整してください。



■上記の手順でブレーキ調節ができない場合

六角ナット 2 を反時計回りの方向へ回してゆるめ、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、車輪内側とブレーキシューのすき間を 4mm に調節してください。その後、六角ナット 2 を時計回りの方向へ回して締めてください。

※この調節方法は、アウターボルトでの調節ができない場合にのみ行ってください。

調節時はアウターボルトを最低位置にしてください。

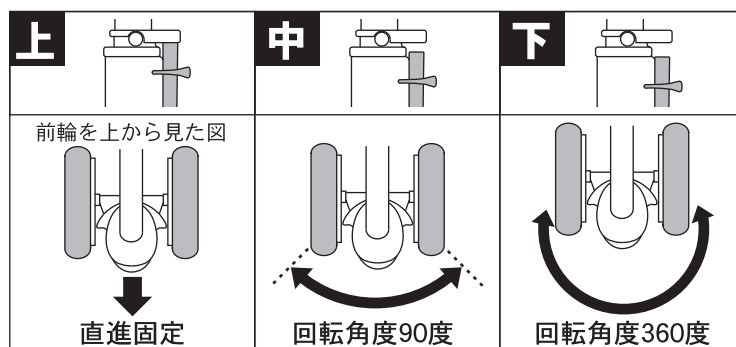
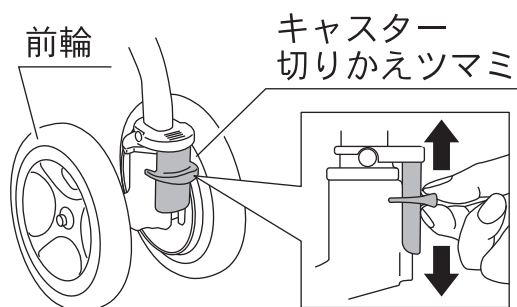
通常の微調節は、上段のアウターボルトでの調節方法で行ってください。

※調節後ブレーキワイヤーが足に接触しない位置まで曲げてください。

ブレーキワイヤーが足に接触する場合は曲げ直してご使用ください。

ワン・ツー・スリーキャスターの使用法

前輪の動き方を、お好みに合わせて3段階に設定していただけます。キャスター切りかえつまみを上・中・下に動かしてください。(設定は、前輪をまっすぐ前に向けた状態で行ってください。)



⚠️ 注意

- 左右の前輪のキャスター切りかえつまみが同じ位置にあることをかならず確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

故障かな？と思ったら

⚠️ 警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 異常がある場合は使用しないでください。
- 使用中に何か異常を感じたら直ちに使用を中止し、すぐにご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへ連絡してください。
- 分解や改造はしないでください。分解・修理が必要なときはご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへ連絡してください。

故障かな？と思うような現象が発生したら、修理を依頼する前にもう一度、下記の点を確認してください。

こんなとき	ここを確認	直し方
旋回性が悪い	前輪についている、ワン・ツー・スリーキャスターが直進の設定になっていませんか？	10Pのワン・ツー・スリーキャスターの使用法をご確認いただき、前輪の動き方を設定してください。
ブレーキの利きが悪い	ブレーキ操作を行っているとき、ブレーキシューが車輪内側にしっかり当たっていますか？	9Pのブレーキの調節方法をご確認いただき、適切な位置にブレーキシューがくるように調節してください。
走行操作が重い	車輪に髪の毛やほこりなどのゴミがはさまっていませんか？	はさまっているものを取り除いてください。
異音がする		

上記の対処をしても良くならない場合、または現象に当てはまらない場合は、ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへ連絡してください。

TAKE CARE OF
Tacaof

<http://www.tacaof.co.jp>

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、
ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品をほかの方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡してください。